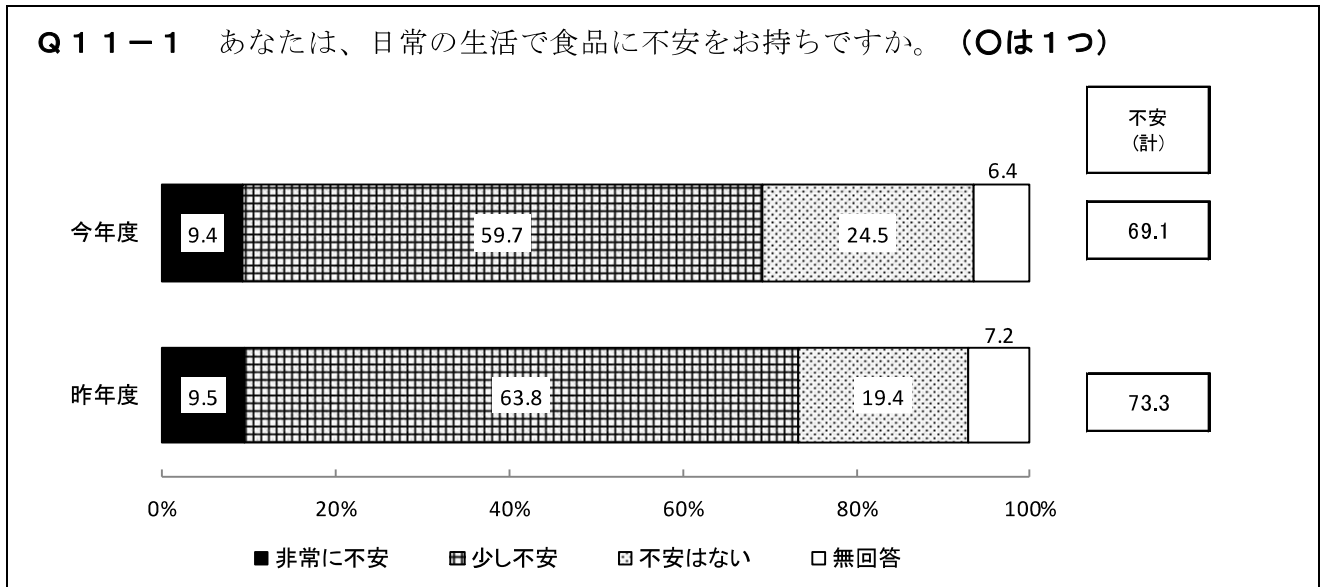


11. 食の安心・安全について

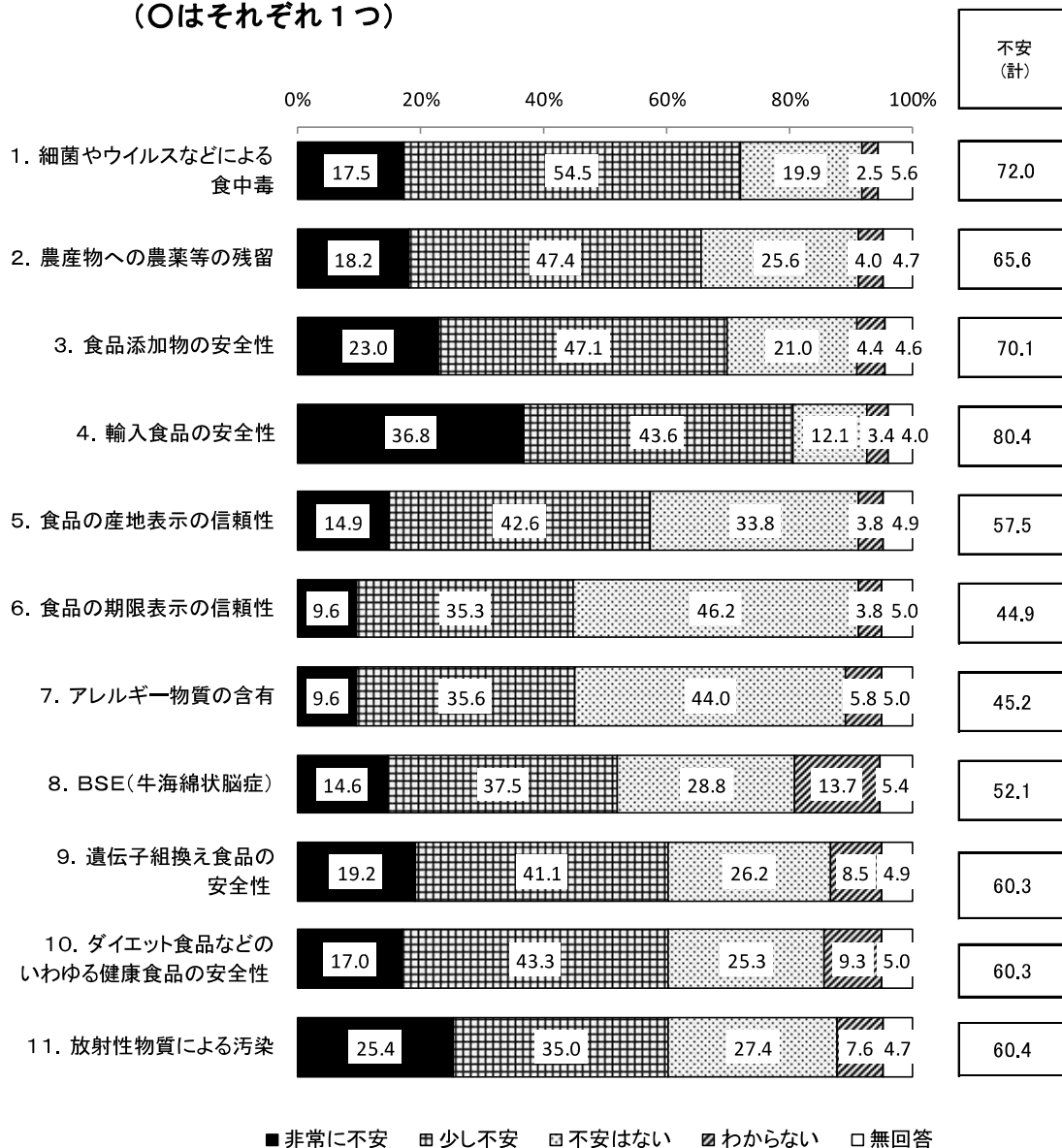
11-1. 食品に対する不安



食品に対する不安について、「非常に不安」と「少し不安」を合わせた『不安(計)』は69.1%と7割弱となっている。昨年度と比較すると、『不安(計)』は4.2ポイント低下している。

11-2. 食品について不安なこと

Q11-2 あなたは食品について、どのようなことに不安をお持ちですか。
(〇はそれぞれ1つ)

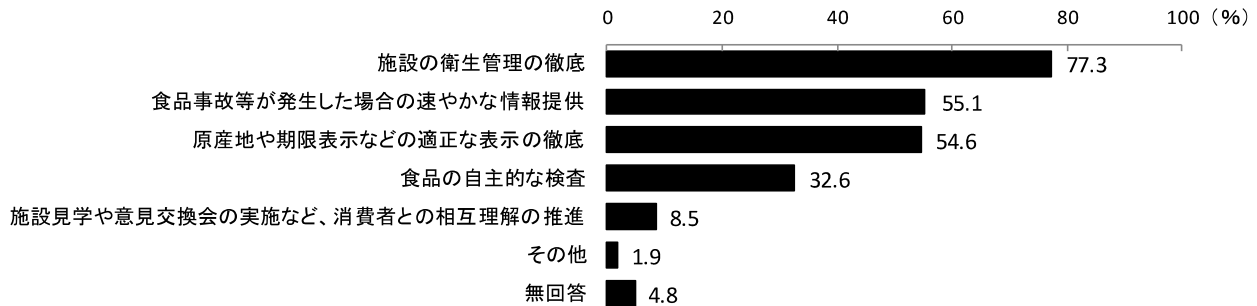


食品について不安なことについて、「非常に不安」と「少し不安」を合わせた『不安(計)』の割合は、「4. 輸入食品の安全性」が80.4%、「1. 細菌やウイルスなどによる食中毒」が72.0%、「3. 食品添加物の安全性」が70.1%、「2. 農産物への農薬等の残留」が65.6%などで高くなっており、6割超から8割超となっている。

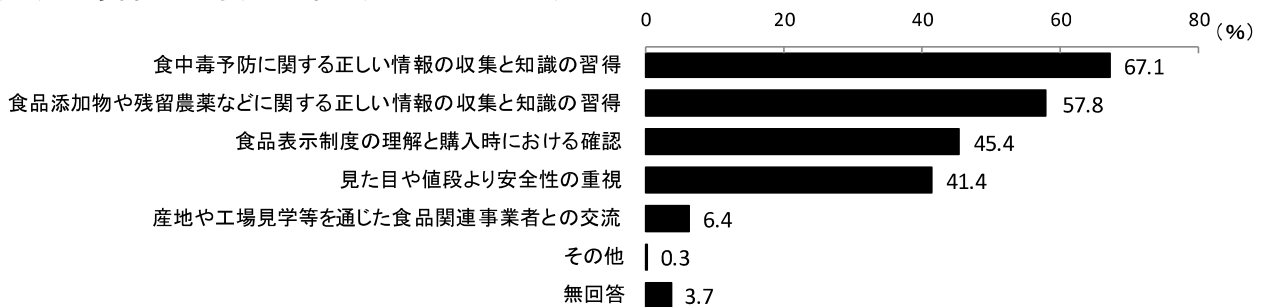
11-3. 県民が安全で安心な食生活を送るために必要な取組

Q11-3 あなたは、県民が安全で安心な食生活を送るために、「食品関連事業者（生産者、製造・加工者、販売者）」、「消費者」、「県」は、それぞれどのような取組が必要だと思いますか。

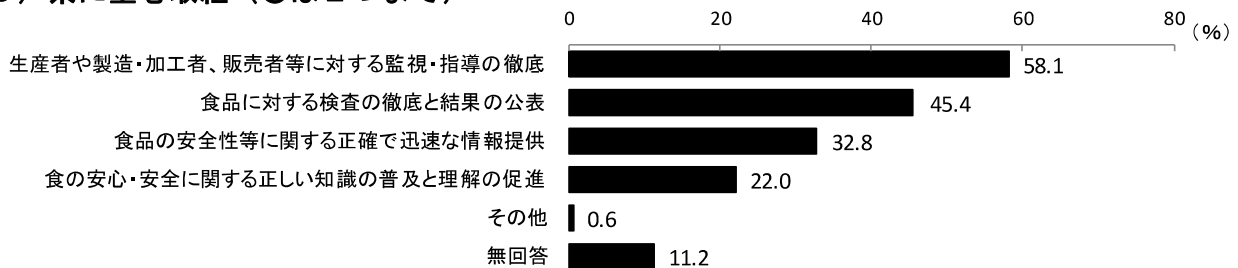
(1) 食品関連事業者に望む取組（○は3つまで）



(2) 消費者に必要な取組（○は3つまで）



(3) 県に望む取組（○は2つまで）



県民が安全で安心な食生活を送るために必要な取組について、「食品関連事業者に望む取組」は、「施設の衛生管理の徹底」が 77.3%と最も高く、次いで「食品事故等が発生した場合の速やかな情報提供」が 55.1%の順となっている。

「消費者に必要な取組」は、「食中毒予防に関する正しい情報の収集と知識の習得」が 67.1%と最も高く、次いで「食品添加物や残留農薬などに関する正しい情報の収集と知識の習得」が 57.8%の順となっている。

「県に望む取組」は、「生産者や製造・加工者、販売者等に対する監視・指導の徹底」が 58.1%と最も高く、次いで「食品に対する検査の徹底と結果の公表」が 45.4%の順となっている。